

スタッフ

センター長

中野 晋 教授

副センター長

上月 康則 教授

防災研究部門

馬場 俊孝 教授
中野 晋 教授
村田 明広 教授
長尾 文明 教授
武藤 裕則 教授
安間 了 教授
矢部 拓也 教授
山本真由美 教授
蔣 景彩 准教授
西山 賢一 准教授
田村 隆雄 准教授
上野 勝利 准教授
三輪 昌史 准教授
中田 成智 准教授
青矢 睦月 准教授
田口 太郎 准教授
内藤 直樹 准教授
山中 亮一 講師

災害医療研究部門

西村 明儒 教授
佐藤 健二 教授
内海 千種 准教授
主田 英之 准教授

環境研究部門

鎌田 磨人 教授
上月 康則 教授
浜野 龍夫 教授
奥嶋 政嗣 教授
河口 洋一 准教授
山城 考 准教授
佐々木千鶴 准教授
飯山 直樹 特任准教授
山中 亮一 講師
渡辺公次郎 助教
尾野 薫 助教
中西 敬 客員教授
山本 裕史 客員教授
小串 重治 客員准教授
渡辺 雅子 客員准教授
西田 貴明 客員准教授

危機管理研究部門

小川 宏樹 教授
中野 晋 教授
上月 康則 教授
山中 亮一 講師
光原 弘幸 講師
畠 一樹 特任講師
湯浅 恭史 助教
金井 純子 助教
川崎 克寛
徳島大学 COC プラス推進本部・
コーディネーター

宇野 宏司 客員准教授
坂東 淳 客員准教授
三上 卓 客員准教授
徳永 雅彦 客員准教授
黒崎ひろみ 客員准教授

技術スタッフ

楠 則子 技術補佐員
平田 順子 技術補佐員
尾野 美香 技術補佐員
朝波 史香 技術補佐員

キャンパスマップ



環境防災研究センター

徳島大学理工学部建設棟 1 階
★JR 徳島駅から約 2 Km
(徒歩 / 約 30 分、バス利用 / 約 20 分)

〒770-8506

徳島県徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地

TEL : 088-656-8965

FAX : 088-656-8017

Email : office@rcmode.net

徳島大学環境防災研究センター

検索

2019.7 現在

ご挨拶



徳島大学
環境防災研究センター

センター長

中野 晋

南海トラフなどを震源域とする大規模地震の発生や地球温暖化に伴う世界的な異常気象が顕在化しています。人間生活を危うくする自然災害に対して、産官学が一体となって防災対策や危機管理体制の構築を進める必要性が高まっています。一方、自然災害の被害を緩和し、安全で快適なくらしづくりのため、防災施設の整備が行われてきましたが、時に自然環境、特に生態系に大きなダメージを与えることがありました。環境と共生した安全・安心なまちづくりを進めるためには、工学、理学、人文・社会科学、医学、薬学など、種々の学術分野が有機的に連携し、協働することが必要です。当センターはそうした理念のもと、平成 16 年 4 月に環境と防災の研究拠点として設置され、今年 16 年目を迎えました。防災と環境の両面において、研究成果を地域の安全・安心、さらには地域の発展につなげるための活動を、これからも切れ目なく続けてまいります。

研究部門

防災研究部門

部門長 馬場 俊孝 教授

今世紀前半に発生が危惧されている南海トラフ地震では、大規模な地震被害や津波被害の発生が予測されています。また、近年の急激な人間活動の拡大に起因する環境被害などにより、洪水災害、強風被害、地震災害などが日常に発生しています。防災研究部門では、これら各種災害に対する被害予測や効果的な防災対策を目指した基礎的・応用的研究を行います。



熊本地震（益城町）

キーワード

地震、津波、洪水、強風、地盤災害

災害医療研究部門

部門長 西村 明儒 教授

災害時の医療活動には救急医療のみならず避難生活中的健康管理や疾病の治療、死亡者に対する死体検案があります。医師や救急救命士が迅速に対応できない現場では市民による活動が望まれ、心肺蘇生術の普及は重要です。しかし、地震災害では救命不可能な損傷を受けることが多く、その予防は被災死亡者の死因分析なしでは行い得ません。また、損壊や腐敗の著しい遺体に関わる家族や救援関係者に対する心のケア体制の整備も必要です。

キーワード

緊急医療体制、被災者医療、衛生管理、衛生薬理、トリアージ、死体検案、個人識別、DNA鑑定、家族支援、心のケア

環境研究部門

部門長 鎌田 磨人 教授

自然環境の保全・修復・再生を目的に、環境影響評価手法、自然再生手法、気候温暖化の緩和策等に関する研究・開発を行います。また、グリーンインフラとしての生態系・生物多様性を地域活性、及び、温暖化によって増大する洪水災害、南海・東南海地震に伴う津波災害の低減に活用してゆくための研究を行います。そして、研究成果に基づいた政策を提言し、行政・市民団体・企業等とともに実践してゆきます。

キーワード

生態系、生物多様性、自然再生、気候温暖化対策、グリーンインフラ、生態系を活用した防災(Eco-DRR)

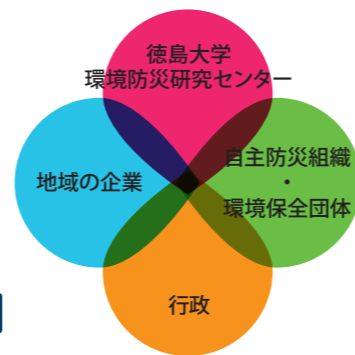
危機管理研究部門

部門長 小川 宏樹 教授

南海トラフ地震や台風などによる自然災害のほか、新型インフルエンザなどの感染症も新たなリスクとして注目されています。現代社会が直面するリスクを正しく評価し、被害を最小化するためには日常の危機管理体制の構築が重要です。危機管理研究部門は自然災害や感染症を視野に社会での対応方法に関する研究、教育、社会活動を行います。また「とくしま大学環境防災Café」など、各種公開講座等により情報発信を行います。

キーワード

自然災害、感染症、危機管理、リスクマネジメント、事業継続マネジメント(BCM)、防災教育



主な事業内容

四国防災・危機管理プログラム

本プログラムは、大規模広域災害やグローバル化する危機に対して適切に対応できる専門家の養成を目指し、社会人や大学院生などを対象に、香川大学と徳島大学が共同で実施するものです。

本学では「行政・企業防災・危機管理マネージャー」養成コースを開設しています。必要な単位を修得した修了生には、災害・危機対応マネージャーの資格が与えられます。



BCM (Business Continuity Management: 事業継続マネジメント)

近年、企業においても組織全体で災害やリスクに対応していく必要があり、事業継続計画(BCP)の策定はもちろん、事業継続マネジメントに取り組むことが不可避となってきました。当センターでは、徳島県と協力して県内企業・団体を対象にBCP研究部会を開催し、取組事例の発表やワークショップ等を通じてBCP・BCMの向上を目指しています。ご興味のある方はぜひご参加ください。

とくしま大学 環境防災 Café



「とくしま大学防災Café」は、2019年度より「とくしま大学環境防災Café」と名称を変更しました。毎月1回、平日の18～20時に常三島キャンパスで開催しています。環境防災研究センターのスタッフ2

名が研究や取り組みについて最新の話題を提供し、出席者全員で話し合います。環境と防災の両面から地域の安心・安全を考える場として、お気軽にご参加ください。飲み物などをご用意してお待ちしています。

徳島大学防災リーダー養成講座

本講座では、幅広い立場や年齢層において地域防災力の向上に資する人材の育成を目標に「地域防災推進員養成研修」を開催しています。半年間、大学生と社会人が学ぶ長期講座と5日間集中の短期講座があり、短期講座では徳島会場(徳島大学)の講義をWeb会議システムを用いて県西部・南部地域の会場とリアルタイムに繋ぐ方式で行っています。講座修了生には「防災士」の受験資格が与えられます。

勝浦川流域フィールド講座

「生物多様性とくしま会議」との協働で実施されている本講座は、徳島県・勝浦川の源流域から河口域までのフィールド体験を軸に、生物多様性や生態系サービスの重要性を五感を使って学びます。要件を満たした修了者は生物多様性リーダーとして徳島県から



認定され、県内各地域でそれぞれの強みや特技を生かして活動するほか、本講座で企画運営に携わり、リーダー育成に貢献するなど、生物多様性の普及啓発に努めています。

災害調査

当センターでは、災害の起こった現場へ赴き、調査や研究、聞き取りを行っています。災害後の地域環境づくりや課題解決の手助けをし、地域社会へ貢献できる活動をしています。



平成30年7月豪雨(大洲市肱川町)

図書&防災関連物品の貸し出し

当センターでは防災関連の図書整備とともに、学生や一般の方々への貸し出しを行っています。乳幼児～児童向けの防災絵本や紙芝居、防災研修会で使用する避難所運営ゲーム「HUG」、意思決定訓練「クロスロードゲーム」も用意しています。お気軽にお問い合わせください。